

割の五割五分を解雇したり(約切五五五五五五)然るに炭坑労働者の解雇は、

大々的失業業者を以て出さずして漸次整理を行つた結果別設社会を害毒を流さ

ズマント職工と異なり坑夫は帰農を以てせしむる事トカ例シテ君物由ニモ用

途ニ依リ別設社会ニ大波紋ヲ及ボスニ至リシ

二、鑛山設備衛生保健施設鑛夫の風化取締、能率増進方法ノ

研究等何レも重大問題ナリ如何ニ官憲當局が注意ヲ策ヲ講ジても

國民全体ノ自覺が之に伴ヒ所謂感化を経る事ニ至ラズニ是國一救之ニ当

ラズハ目的ヲ達スルハ困難ナリ

三、石炭の消費冬期と夏期ニ非常ニ差歟ガレ付消費共ニ不利なト不安

が伴フモノ故米國テハ一ヶ年平均出炭ノ方策ヲ研究シ居ルト云フガ日本ニモ

是非研究ヲ要スル米國坑夫一日出炭高ハ其能率増進ニ對シ

テ日本ハ其一割ノ一畝ト云フハ情ケレバ之ニ元素炭層ノ厚薄ト

機械的設備が十分ニ施サレナイ關係モ在リテ可及的機械設備ヲ補充シ